

備え付けのエコキュートの使いはじめ

エコキュート

タンクの水を抜いた後は、次の手順で給湯機の使用を再開します。また、タンクの水を抜かずに1ヵ月以上お湯を使わなかった場合は、給湯機の水を抜いてから次の手順を実施ください。

※給湯機を初めてご使用になる場合など

方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。当社修理窓口にご依頼いただくことも可能です。(有料)

※必ず満水にしてから電源を入れてください。故障の原因となります。

※入居時など、タンクが満水かどうか知りたい場合

給水配管専用止水栓を開き、逃し弁のレバーを手前に起こしたり戻したりして、排水口から多量の水が出るか確認してください。

※不使用期間がわからない場合

給湯機の水を抜いてから次の手順を実施してください。

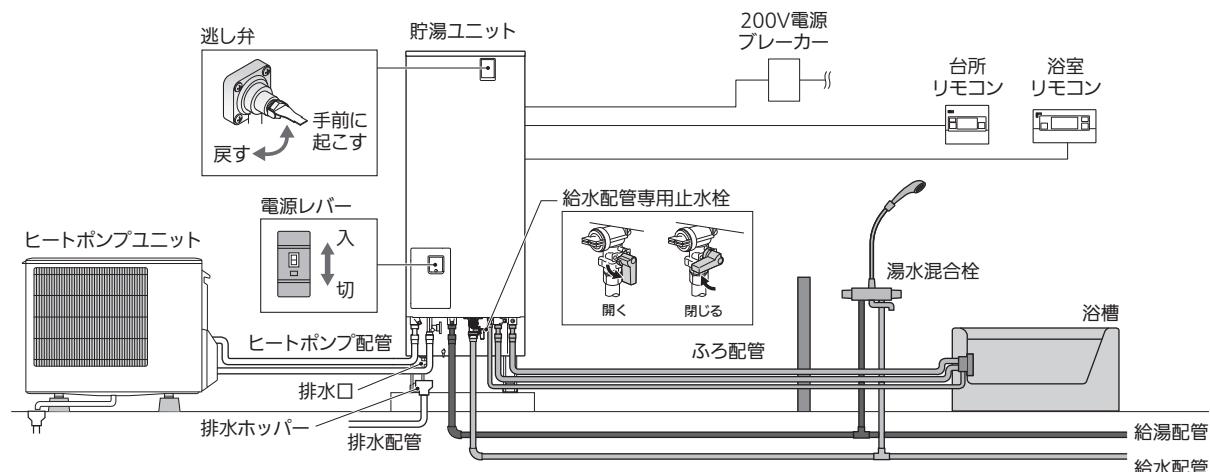
※ご使用される機器により操作方法が異なります。
詳しくは、ご使用される機器の取扱説明書をご覧ください。

暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

www.mitsubishielectric.co.jp/wink



タンクへの給水方法 Pタイプで説明しています。*配管・水抜き栓の有無は機種により異なります。



- お願い**
- 給水配管専用止水栓が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。
 - 脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。

1

以下のことを確認する

- 貯湯ユニットの電源レバー：「切」
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水抜き栓、非常用取水栓、排水栓、給水ストレーナ：「閉」
- すべての蛇口（湯水混合栓）：「閉」

- お願い**
- 満水になるまで蛇口（湯水混合栓）は開けないでください。
故障の原因となります。

2

機器を満水にする

- 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
- 給水配管専用止水栓を開き、貯湯ユニットへ給水する
 - 給水口中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。
 - 給湯配管に止水栓が取り付けられている場合は、開いていることを確認してください。
 - 水がタンクに入らない場合は、次の手順を実施してください。
①200V電源ブレーカーと電源レバーを「入」にする
②約30秒後、電源レバーと200V電源ブレーカーを「切」にする
- 貯湯ユニットの排水口から水が出ると満水の合図です
満水までの目安:約30分(コンパクトタイプは約10分)
 - 排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。
- 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す(排水が止まります)

3

満水を確認後、電源を入れる

- 200V電源ブレーカーを「入」にする
- 電源レバーを上げ、「入」にする
 - 電源を入れると、昼間でもわき上げを開始します。
 - お湯の増加とともに残湯量表示が増加します。
最初は「残湯なし」が表示されます。



タンクが満水でも温度が45°C未満の場合は「残湯なし」が表示されます。
45°C以上になると残湯量(目安)が表示されます。

4

機器のエア抜き運転をする

- (1)台所リモコンの選択スイッチ 「▲」「▼」を同時に3秒以上押す



- エア抜き運転中は、台所リモコンに「エア抜き」が表示されます。約10分後に自動で停止します。
- タンクが満水になる前にエア抜きをすると、30分程度かかる場合があります。
- 同手順(「▲」「▼」同時に3秒押し)で、エア抜きを終了できます。
- 初期のみ、電源を入れる(3項)と、自動でエア抜きします。

- (2)エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分手前に起こす
(1分後、レバーを戻す)

5

リモコンの日時を確認する

- 他の設定も工場出荷時に戻っていることがありますので、確認してください。
- 初めてご使用の場合は電力契約モードを確認して、ご契約の内容に合わせてください。

6

お湯を使う

- 約8時間(コンパクトタイプは約4時間)で満タンまでわき上がります。
- 湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にして給湯を開始し、適温に調整してください。(やけど防止)



使いはじめは、しばらくお湯に触れない(やけどの原因)
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散ることがあります。